

OCU-KS2000MVF (-SL)

品 呼 称 出 力 番			OCU-KS2000MVF (-SL)			
電 源			14.6 (7.3 × 2) kW			
使 用 周 囲 温 度			3相 200 V 50 Hz / 60 Hz			
使 用 冷 媒 の 種 類			R448A / R449A		R407H	
蒸 発 温 度 範 囲			-40℃ ～ -5℃		-37℃ ～ -5℃	
法 定 冷 凍 ト ン 数		50 Hz	7.44 トン		7.28 トン	
		60 Hz	8.13 トン		7.95 トン	
コンプレッサー	コンプレッサー種類		定速		インバーター	
	製品コード (型 式)		819 270 03 (ACC171JA03)		819 270 05 (ACC144MA03)	
	定 格 出 力		7.46 kW		6.00 kW	
	吐 出 量	50 s ⁻¹ (Hz)	29.8 m ³ /h		—	
		60 s ⁻¹ (Hz)	36.0 m ³ /h		—	
		75 s ⁻¹ (Hz)	—		37.2 m ³ /h	
	冷 凍 機 油	種 類	ダフニーハーメチック FV-32S			
冷 却 方 式		2.5 L × 2				
クランクケースヒーター		リキッドインジェクション (電動弁制御)				
凝縮器	構 造		50 W × 2			
	ファ ン モ ー タ 出 力		アルミプレコートスリットフィンチューブ			
	ファ ン 径		700 W × 2			
	ファ ン 風 量	50 Hz / 60 Hz	φ700 mm × 2			
凝 縮 圧 力 制 御		26,400 m ³ /h / 26,400 m ³ /h (全速時)				
保護装置	容 量 制 御		DCインバーターによる 0 ～ 100 % 回転数制御 (ST2C基板で「省エネ」・「標準」・「低騒音」モードに切替可、出荷時「標準」設定)			
	コンプレッサー 過 電 流	方 式	インバーター制御 (20 s ⁻¹ (Hz) ～ 75 s ⁻¹ (Hz))			
		定 速	45 A (リレー)			
	コンプレッサー吐出温度		53 A 5秒 または 55 A 1秒 (インバーター基板)			
	コンプレッサー油面		130℃ OFF / 75℃ ON			
	電 源 逆 相 ・ 欠 相		あり			
	可 溶 栓		あり			
内蔵機構部品	ヒ ュ ー ズ		φ3.5 mm / 70℃			
	レ シ ー パ ー タ ン ク		操作回路 (5 A × 3) 、DC電源2基板 (15 A × 3) 、電装箱冷却ファンモーター (2 A × 2)			
	ア キ ュ ー ム レ ー タ ー		50 L			
	オ イ ル セ パ レ ー タ ー		8 L			
	サ ク シ ョ ン フ ィ ル タ ー		付			
	モ イ ス チ ャ ー イ ン ジ ケ ー タ ー		銅管 100メッシュ			
フ ィ ル タ ー ド ラ イ ヤ ー		付 (φ22.22 mm 内径溶接接続)				
配 管 接 続 径		吸 入 ガ ス		φ41.28 mm (外径溶接)		
外 形 寸 法		液 出 口		φ22.22 mm (外径溶接)		
		高 さ × 幅 × 奥 行		2,064 mm × 1,790 mm × 890 mm		
製 品 質 量			535 kg			
梱 包 質 量			536 kg			
外 装 塗 装 色 (仕 様)			ハーモニーホワイト (マンセル : 5Y-8.4 / 0.5)			
性能	周 囲 温 度		32℃			
	インバーターコンプレッサー運転周波数		75 s ⁻¹ (Hz)			
	冷 媒		R448A / R449A		R407H	
	蒸 発 温 度		-10℃	-40℃	-10℃	-37℃
	冷 凍 能 力	50 Hz	38.7 kW	10.0 kW	37.5 kW	10.8 kW
		60 Hz	40.9 kW	10.6 kW	40.0 kW	11.6 kW
	入 力	50 Hz	20.9 kW	14.2 kW	20.5 kW	14.3 kW
		60 Hz	22.8 kW	15.0 kW	22.4 kW	15.1 kW
	電 流	50 Hz	65.3 A	47.0 A	64.2 A	47.2 A
		60 Hz	68.6 A	46.3 A	67.5 A	46.8 A
	始 動 電 流	50 Hz	255 A		255 A	
		60 Hz	228 A		228 A	
	力 率	50 Hz	92 %	87 %	92 %	87 %
		60 Hz	96 %	94 %	96 %	93 %
騒 音	50 Hz	58.5 dB(A)	58.5 dB(A)	58.5 dB(A)	58.5 dB(A)	
	60 Hz	60.0 dB(A)	59.0 dB(A)	60.0 dB(A)	59.0 dB(A)	

制御基板上のデジタル表示部に低圧圧力と高圧圧力が交互表示し、識別のため高圧圧力は末尾に「H」が表示されます。また、エラーコードは先頭に「E」が表示されます。

注) 1. (-SL)は、JRA耐重塩害仕様品です。

2. 当社指定の漏電遮断器を取付け、D種接地工事を行ってください。

3. R448A/R449A/R407Hは温度グライドを有する非共沸冷媒であり、定格性能測定時の蒸発温度は露点方式を採用しています。

4. 冷凍能力は、電源電圧 : 200 V、吸入ガス温度 : 18℃、インバーターコンプレッサー(CM2) 75 s⁻¹ (Hz) 運転、ファン運転モード「省エネ」で測定しています。

5. 始動電流は、インバーターコンプレッサー(CM2) 75 s⁻¹ (Hz) 運転時に、定速コンプレッサー(CM1)が始動した時の電流値です。

6. 騒音は、マイクロホン位置が冷凍機正面 1m × 1m でインバーターコンプレッサー(CM2) 75 s⁻¹ (Hz) 運転、ファン運転モード「省エネ」で測定しています。

7. R448A/R449Aは蒸発温度-40℃時の冷凍能力において、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

8. R407Hは蒸発温度-10℃時の冷凍能力において、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

9. 仕様表の表示は、JRA4019 : 2014に準拠しています。

10. R448A/R449A/R407Hは吸入過熱度により冷凍能力が変わる特性を有するため、実際の使用条件と異なる場合は、負荷計算の際に補正が必要です。

【JRA条件（露点）※1】性能特性表（R448A）

＜運転条件＞ 周囲温度：32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

		冷凍能力 kW		入力 kW		電流 A	
		50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
蒸 発 温 度 （ 露 点 ） ℃	-40	10.0	10.6	14.2	15.0	47.0	46.3
	-35	12.8	13.6	15.0	15.9	49.0	48.8
	-30	16.4	17.4	15.9	17.0	51.5	51.7
	-25	20.8	22.1	17.0	18.2	54.3	55.2
	-20	26.0	27.7	18.1	19.6	57.6	59.2
	-17	29.6	31.4	18.9	20.5	59.7	61.8
	-15	32.1	34.1	19.5	21.1	61.2	63.6
	-10	38.7	40.9	20.9	22.8	65.3	68.6
	-5	46.6	49.5	22.5	24.7	69.7	74.1

注) 蒸発温度 -40℃ の冷凍能力については、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

※1 日本冷凍空調工業会標準規格 JRA 4019:2014に準拠し、蒸発温度は露点方式を採用しています。

【JRA条件（露点）※1】性能特性表（R449A）

＜運転条件＞ 周囲温度：32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

		冷凍能力 kW		入力 kW		電流 A	
		50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
蒸 発 温 度 （ 露 点 ） ℃	-40	10.0	10.6	14.2	15.0	47.0	46.3
	-35	12.8	13.6	14.9	15.7	48.8	48.1
	-30	16.3	17.4	15.7	16.8	51.1	51.3
	-25	20.7	22.0	16.8	18.0	53.9	54.9
	-20	25.9	27.5	18.0	19.4	57.2	58.9
	-17	29.4	31.1	18.8	20.3	59.4	61.5
	-15	31.9	33.7	19.3	20.9	60.9	63.3
	-10	38.7	40.9	20.9	22.8	65.3	68.6
	-5	46.2	48.8	22.5	24.4	69.8	73.4

注) 蒸発温度 -40℃ の冷凍能力については、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

※1 日本冷凍空調工業会標準規格 JRA 4019:2014に準拠し、蒸発温度は露点方式を採用しています。

【JRA条件（露点）※1】性能特性表（R407H）

<運転条件> 周囲温度：32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

		冷凍能力 kW		入力 kW		電流 A	
		50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
蒸 発 温 度 （ 露 点 ） ℃	-37	10.8	11.6	14.3	15.1	47.2	46.8
	-35	12.0	12.9	14.6	15.5	48.0	47.7
	-30	15.6	16.8	15.5	16.5	50.3	50.5
	-25	19.9	21.4	16.5	17.7	53.1	53.9
	-20	25.0	26.8	17.7	19.1	56.3	57.9
	-17	28.4	30.5	18.5	20.0	58.5	60.5
	-15	30.9	33.0	19.0	20.6	60.0	62.4
	-10	37.5	40.0	20.5	22.4	64.2	67.5
	-5	44.9	47.8	22.2	24.4	68.9	73.2

注) 蒸発温度 -10℃ の冷凍能力については、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

※1 日本冷凍空調工業会標準規格 JRA 4019:2014に準拠し、蒸発温度は露点方式を採用しています。

OCU-KS2000MVF (-SL)

【選定条件（中点）】性能特性表（R448A）

＜運転条件＞ 周囲温度：32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

		冷凍能力 kW		入力 kW		電流 A	
		50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
蒸 発 温 度 （ 中 点 ） ℃	-40	10.6	11.8	14.5	15.4	48.3	47.7
	-35	13.7	15.1	15.4	16.3	50.0	49.9
	-30	17.7	19.3	16.3	17.4	52.6	53.1
	-25	22.4	24.4	17.4	18.7	55.6	56.8
	-20	28.0	30.3	18.7	20.2	59.1	60.9
	-17	31.7	34.3	19.5	21.1	61.3	63.7
	-15	34.4	37.1	20.0	21.8	62.9	65.6
	-10	41.6	44.4	21.5	23.5	67.9	71.7
	-5	49.6	53.3	23.1	25.5	71.6	76.5

注) 蒸発温度 -40℃ の冷凍能力については、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

OCU-KS2000MVF (-SL)

【選定条件（中点）】性能特性表（R449A）

＜運転条件＞ 周囲温度：32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

		冷凍能力 kW		入力 kW		電流 A	
		50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
蒸 発 温 度 （ 中 点 ） ℃	-40	10.6	11.8	14.5	15.4	48.3	47.7
	-35	13.7	15.1	15.2	16.1	48.8	48.4
	-30	17.6	19.2	16.1	17.2	51.5	51.7
	-25	22.3	24.1	17.2	18.5	54.5	55.4
	-20	27.8	29.9	18.5	20.0	57.9	59.5
	-17	31.5	33.7	19.3	20.9	60.0	62.1
	-15	34.1	36.5	19.9	21.5	61.6	64.0
	-10	41.6	44.4	21.5	23.5	67.9	71.7
	-5	49.1	52.2	23.2	25.1	71.6	76.5

注) 蒸発温度 -40℃ の冷凍能力については、日本冷凍空調工業会指導のR40数値値を使用しています。

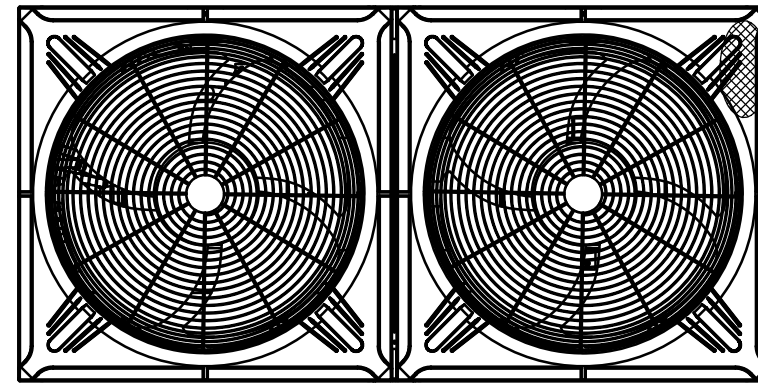
OCU-KS2000MVF (-SL)

【選定条件（中点）】性能特性表（R407H）

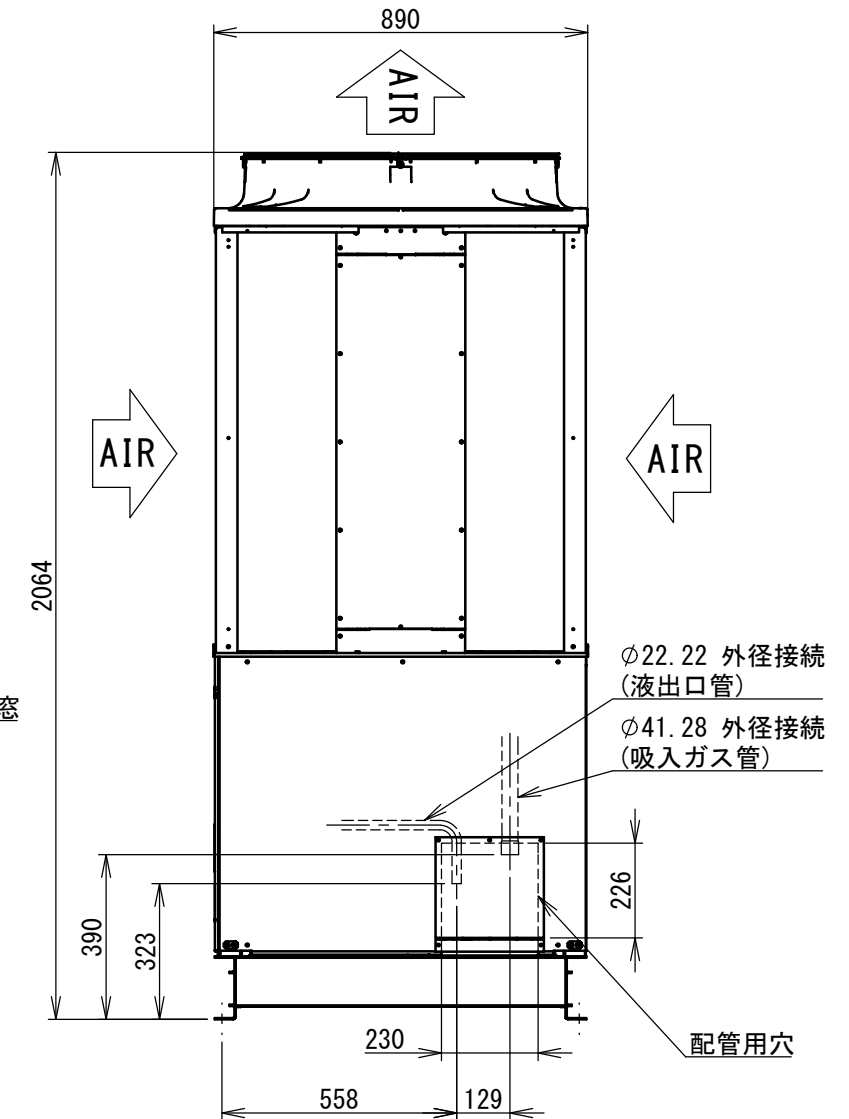
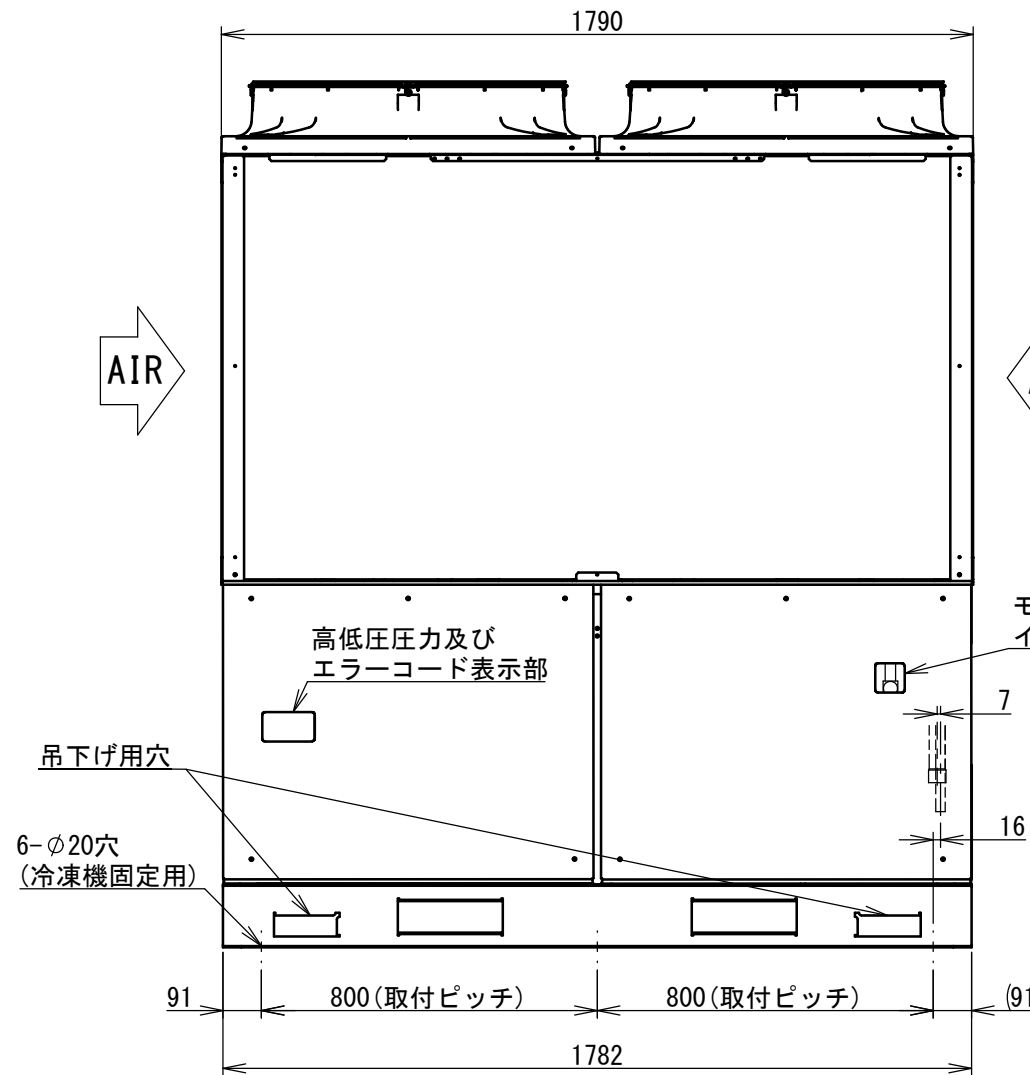
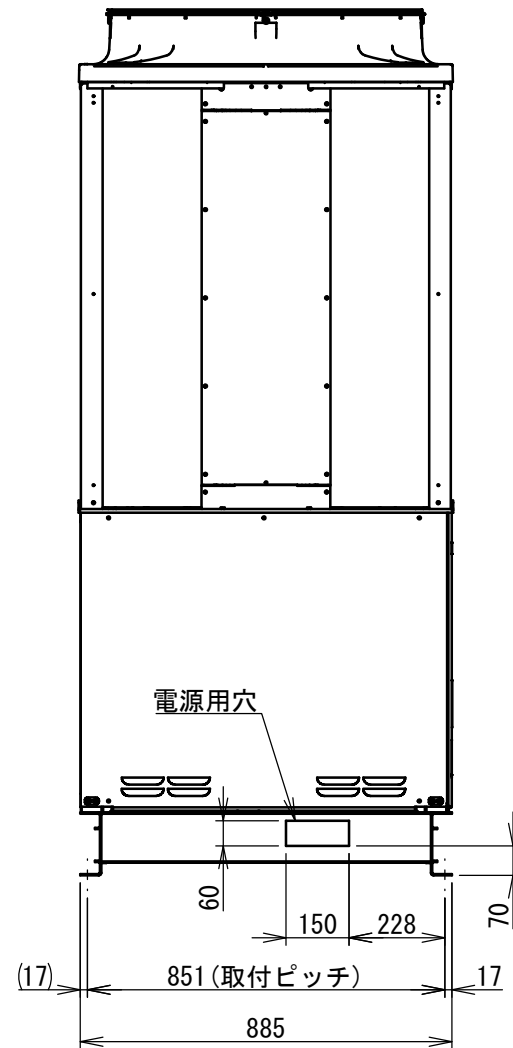
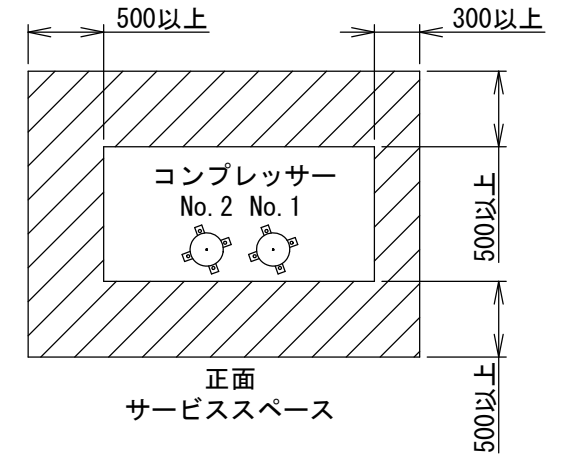
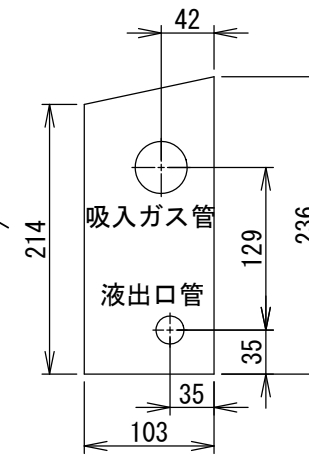
<運転条件> 周囲温度：32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

		冷凍能力 kW		入力 kW		電流 A	
		50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz	50 Hz	60 Hz
蒸 発 温 度 （ 中 点 ） ℃	-37	12.0	12.9	14.6	15.5	48.0	47.7
	-35	13.3	14.4	14.9	15.9	48.9	48.8
	-30	17.2	18.5	15.9	16.9	51.4	51.8
	-25	21.8	23.5	17.0	18.2	54.3	55.4
	-20	27.3	29.2	18.2	19.7	57.8	59.6
	-17	30.9	33.0	19.0	20.6	60.0	62.4
	-15	33.4	35.7	19.6	21.3	61.7	64.4
	-10	40.4	43.0	21.2	23.2	66.0	69.7
	-5	48.1	51.1	22.9	25.2	70.9	75.6

OCU-KS2000MVF (-SL)



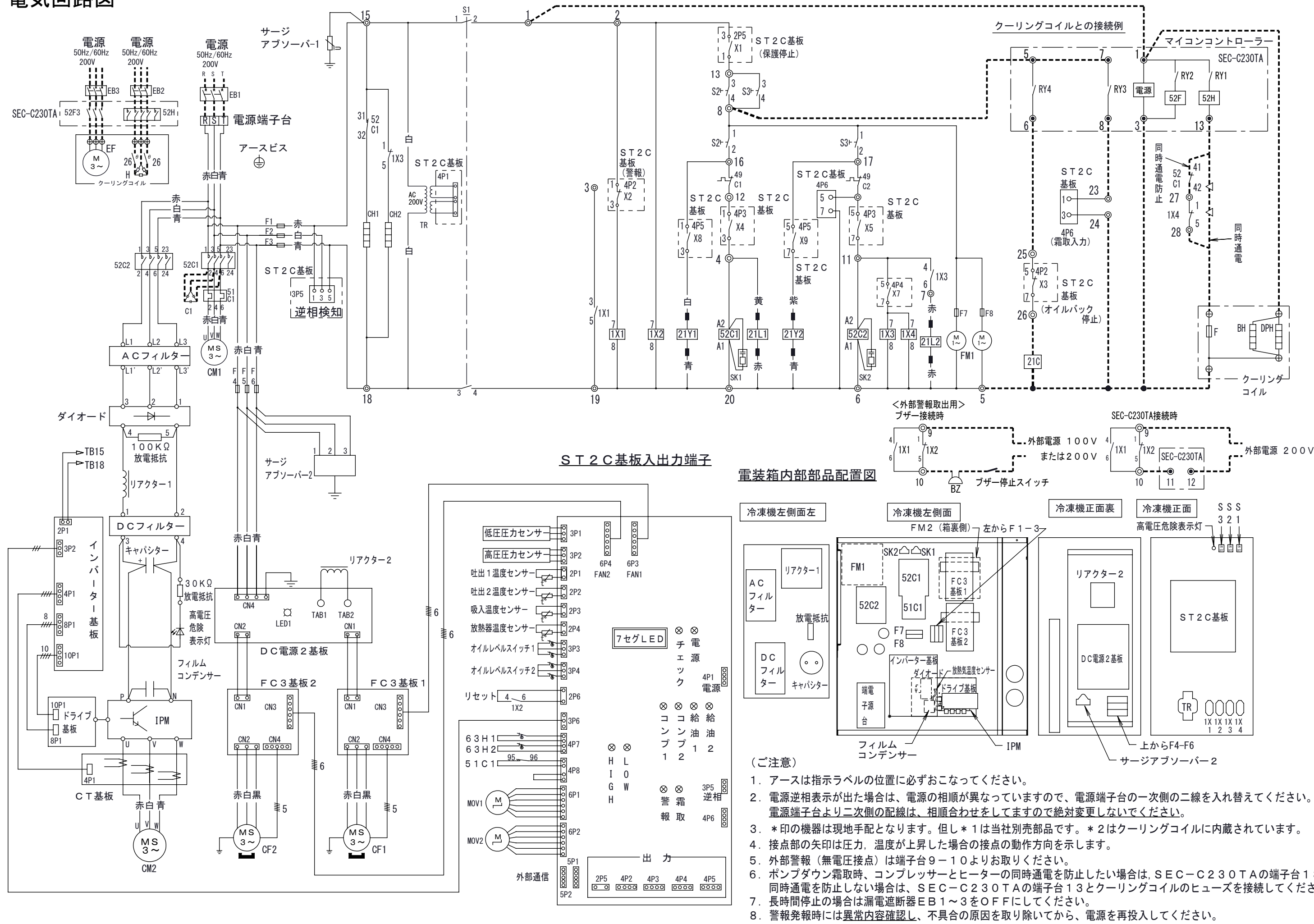
冷凍機下面
配管用穴



△			
△			
△			
	DATE	REVISIONS	R. NO.
	PART CODE		
	3-D-5593-00C		
	NAME		
	OCU-KS2000MVF		

FIRST MODEL NAME			
TOLERANCES UNLESS OTHERWISE SPECIFIED	MATERIAL		
	FINISH		

OCU-KS2000MV (-SL) 電気回路図



記 号	名 称	
F1-3	ヒューズ (250V, 5A)	
F4-6	ヒューズ (250V, 15A)	
F7, 8	ヒューズ (250V, 2A)	
S1	運転スイッチ	
S2, 3	異常停止スイッチ (コンプレッサ単独のON-OFF)	
1X1-4	補助リレー	
52C1, 2	コンプレッサ用電磁接触器	
51C1	コンプレッサ用サーマルリレー	
49C1, 2	コンプレッサモータ保護サーモ	
63H1, 2	高圧圧力スイッチ	
CM1, 2	コンプレッサモータ	
21L1, 2	インジェクション用電磁弁	
21Y1, 2	給油用電磁弁	
MOV1, 2	コンプレッサ冷却用電動弁	
CH1, 2	クランクケースヒーター	
CF1, 2	DCコンデンサーファンモータ	
FM1, 2	電装箱冷却ファンモータ	
DC電源2基板	FC3基板用DC電源 (リアクター外付け)	
FC3基板	DCファンモータ制御	
SK3, 2	サージキラー	
ST2C基板	コンプレッサ容量制御、オイルレベル及び各種保護制御 (X1: 運転/保護停止、X2: 外部警報 X3: オイルバック停止 X4, X5: コンプレッサ運転及び異常停止 X7: 0Hz停止、X8, X9: 給油)	
TR	ST2C基板用電源トランス (温度ヒューズ内蔵)	
EB1-3	漏電遮断器	*
C1	進相コンデンサー	*
21C	液管電磁弁	*
BZ	外部異常警報ブザー	*
52H	デフロスト用電磁接触器	*1
52F	エバポレーターファンモータ用電磁接触器	*1
RY1	霜取り出力1	*1
RY2	ファンモータ出力	*1
RY3	霜取り同期出力	*1
RY4	電磁弁出力	*1
F	温度ヒューズ	*2
H	デフロストヒーター	*2
BH, DPH	ボックスヒーター、ドレンパイプヒーター	*2
26	異常過熱防止用サーモスタット	*2
EF	エバポレーターファンモータ	*2
⊙, ⊗, ⊗	端子台	
—	工場結線	
-----	現地結線	
—△—△—	用途により削除等変更するリード線	

(ご注意)

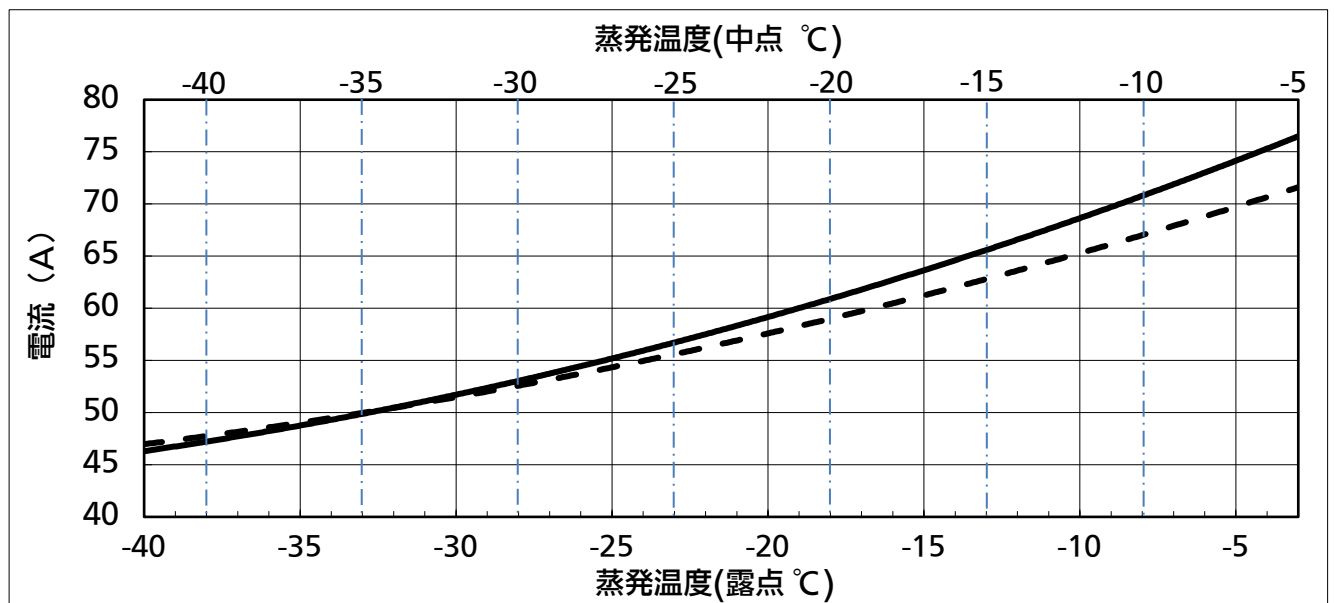
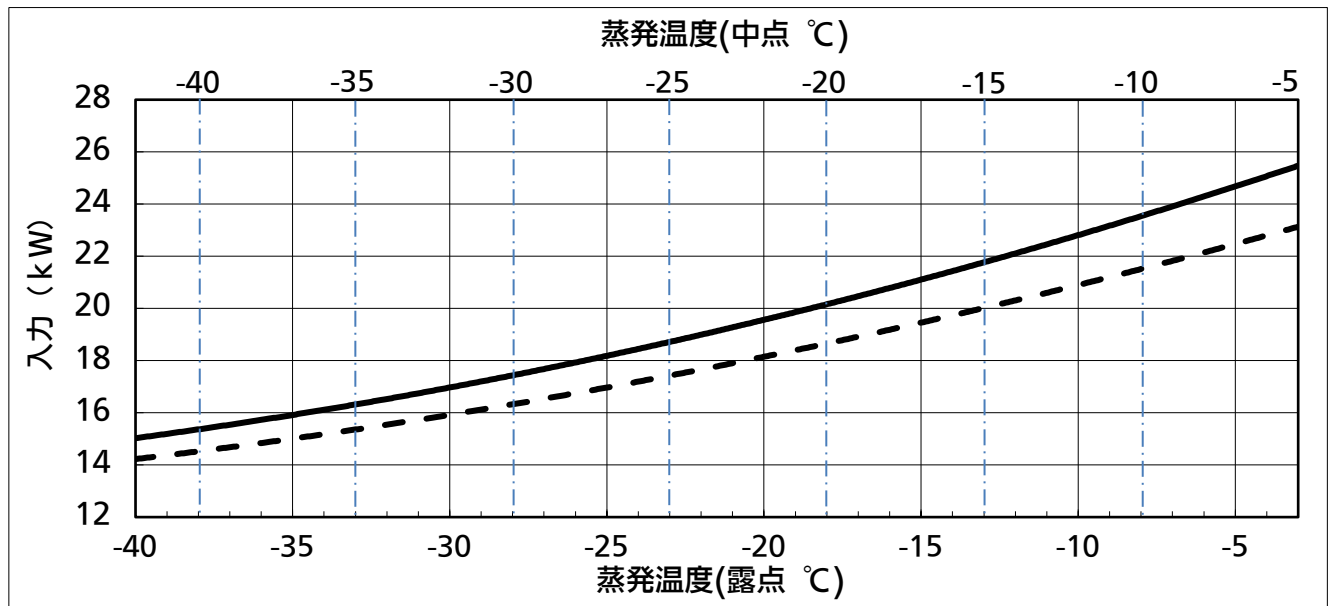
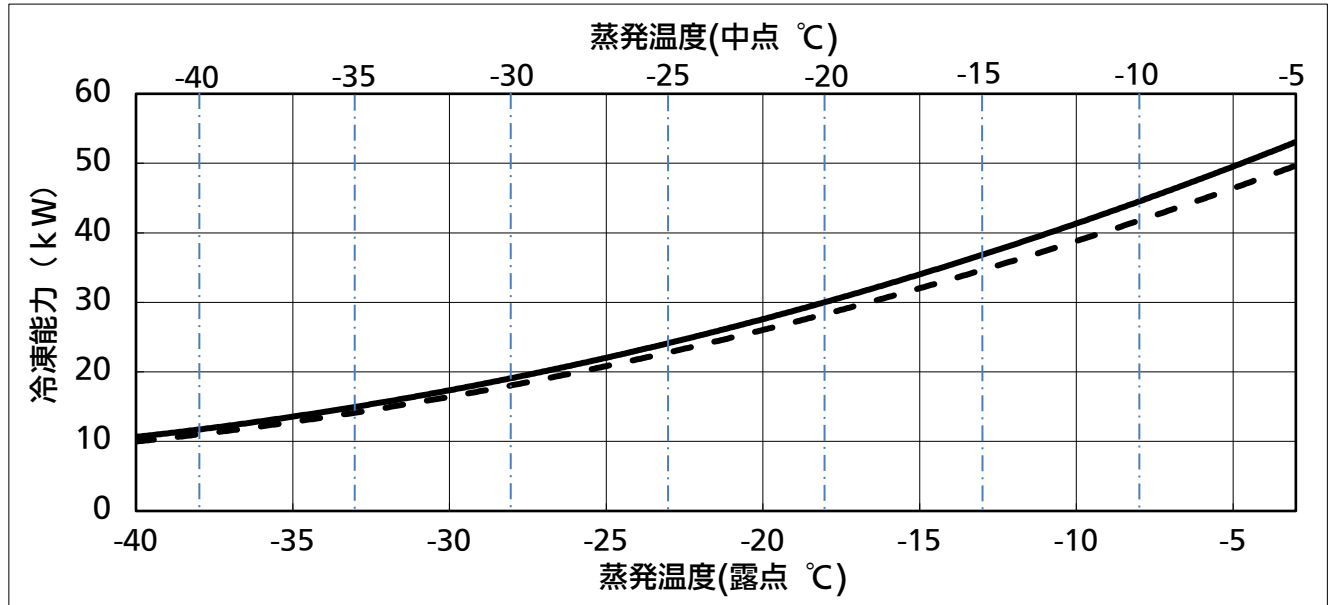
1. アースは指示ラベルの位置に必ずおこなってください。
2. 電源逆相表示が出た場合は、電源の相順が異なっていますので、電源端子台の一次側の二線を入れ替えてください。
電源端子台より二次側の配線は、相順合わせをしますので絶対変更しないでください。
3. * 印の機器は現地手配となります。但し * 1 は当社別売部品です。* 2 はクーリングコイルに内蔵されています。
4. 接点部の矢印は圧力、温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
5. 外部警報（無電圧接点）は端子台 9-10 よりお取りください。
6. ポンプダウン霜取時、コンプレッサとヒーターの同時通電を防止したい場合は、SEC-C230TAの端子台 13 に 52C1, 1X4 の b 接点を接続してください。
同時通電を防止しない場合は、SEC-C230TAの端子台 13 とクーリングコイルのヒューズを接続してください。
7. 長時間停止の場合は漏電遮断器 EB1-3 を OFF にしてください。
8. 警報発報時には異常内容確認し、不具合の原因を取り除いてから、電源を再投入してください。

OCU-KS2000MVF (-SL)

性能特性グラフ (R448A)

<運転条件> 周囲温度32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

— : 60 Hz
- - : 50 Hz

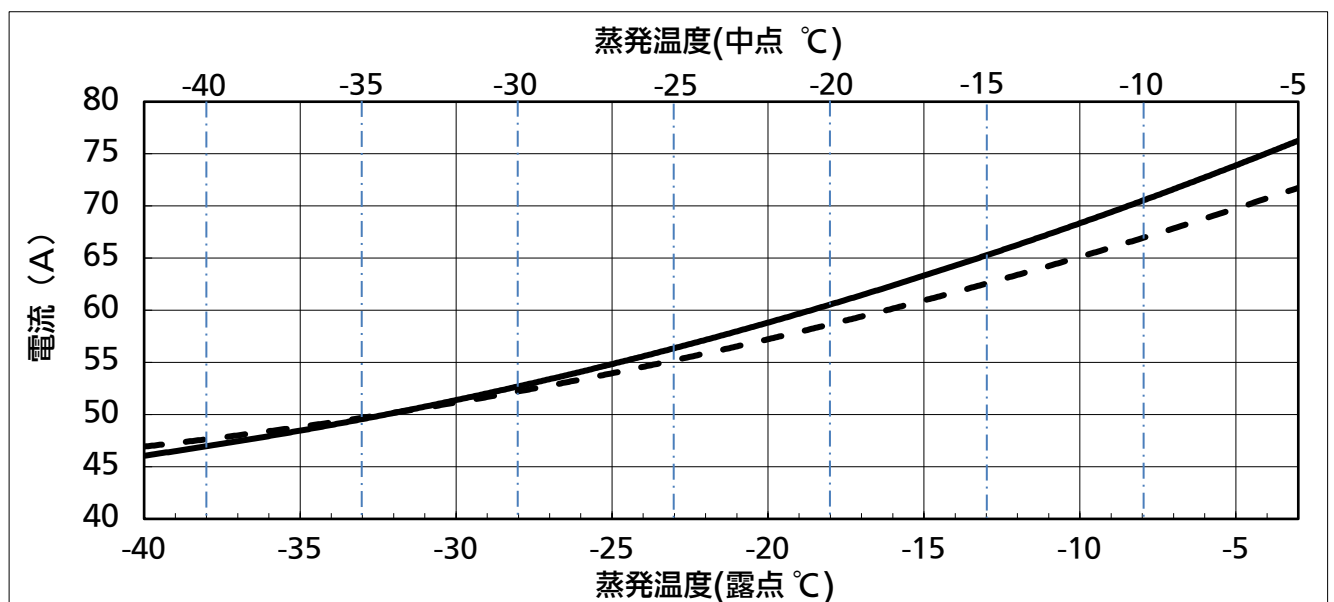
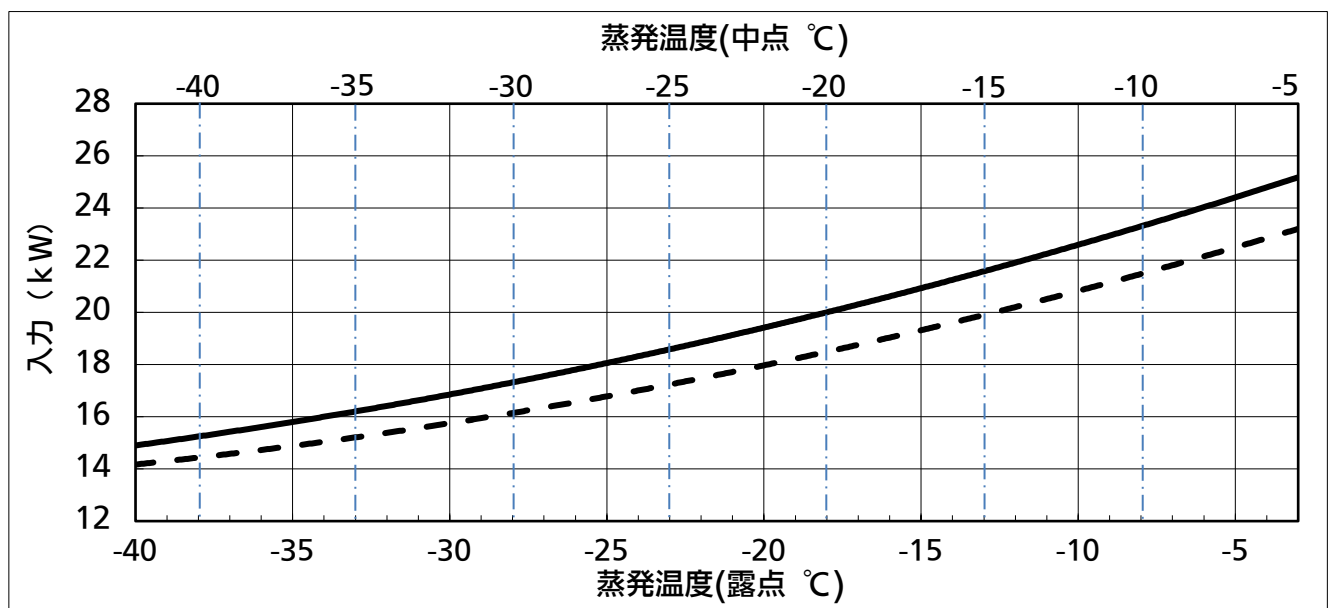
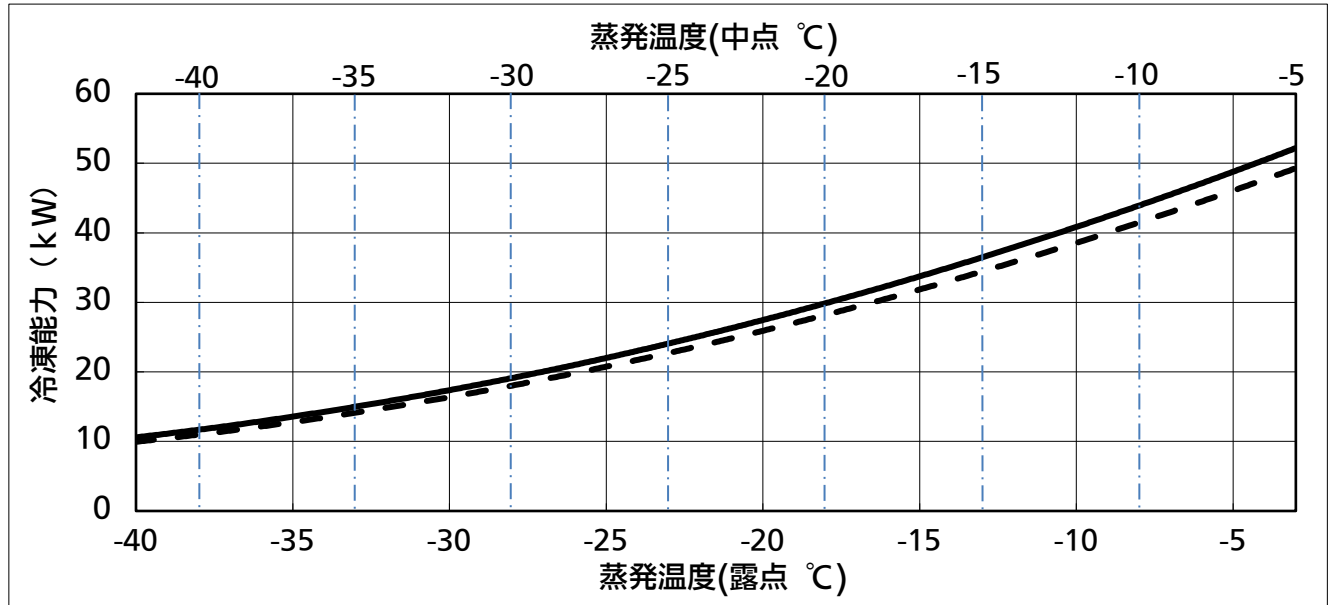


OCU-KS2000MVF (-SL)

性能特性グラフ (R449A)

<運転条件> 周囲温度32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

— : 60 Hz
- - : 50 Hz

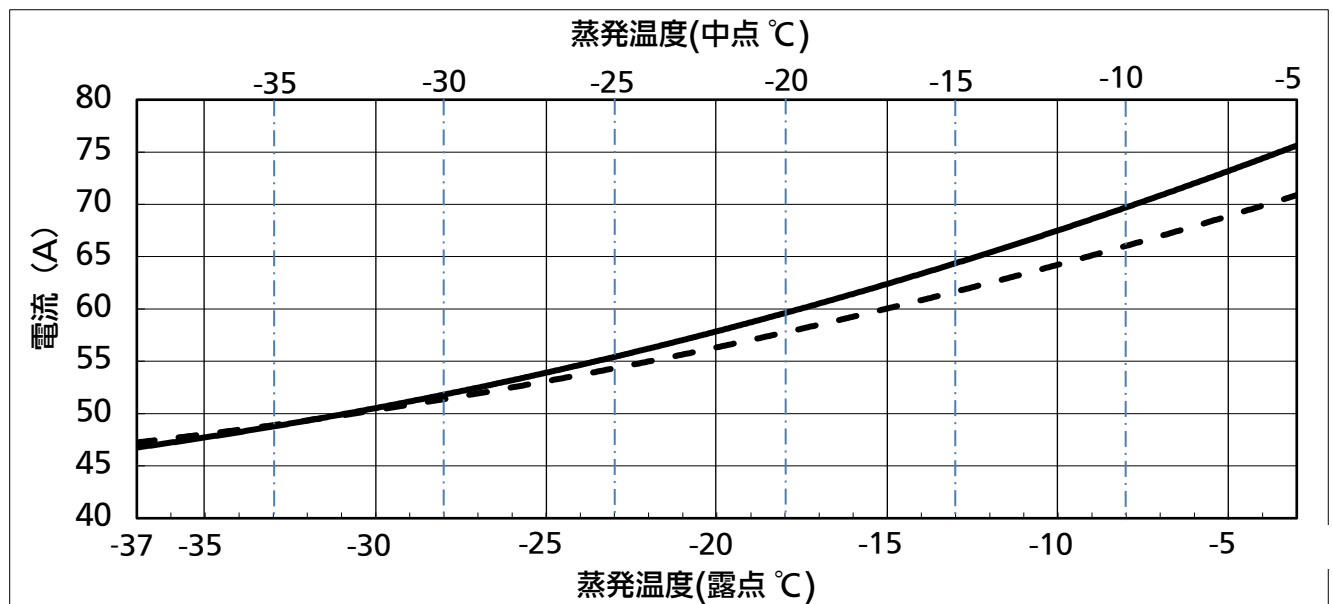
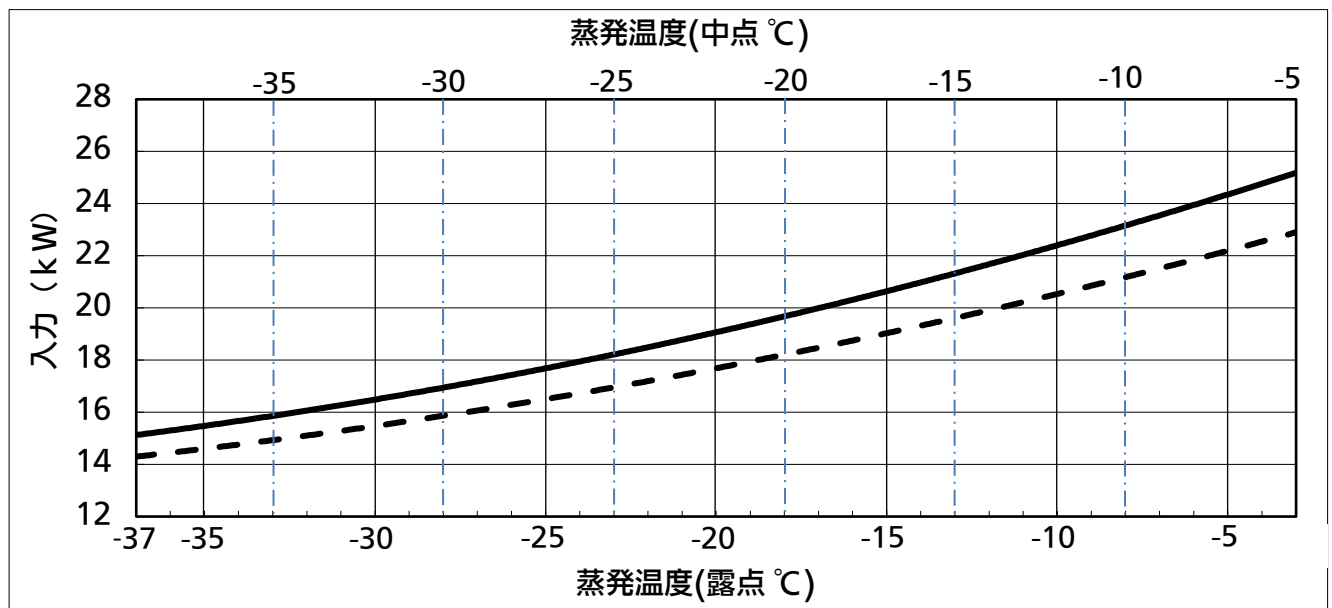
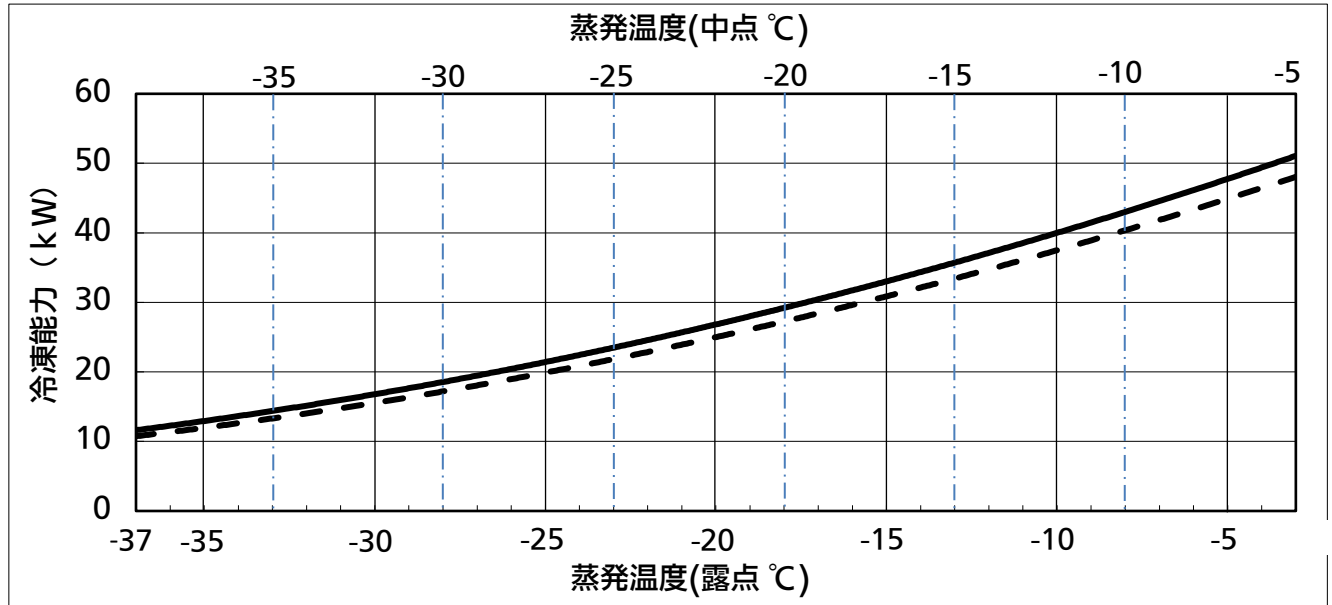


OCU-KS2000MVF (-SL)

性能特性グラフ (R407H)

<運転条件> 周囲温度32℃、電圧：200 V、インバーターコンプレッサー運転周波数：75 s⁻¹(Hz)、
 吸入ガス温度：18℃、ファン運転モード「省エネ」

— : 60 Hz
 - - : 50 Hz



N C 曲線

OCU-KS2000MVF (-SL)

条件：冷媒 R448A,R449A,R407H

周囲温度 32 ℃

凝縮温度 —

蒸発温度 -10 ℃

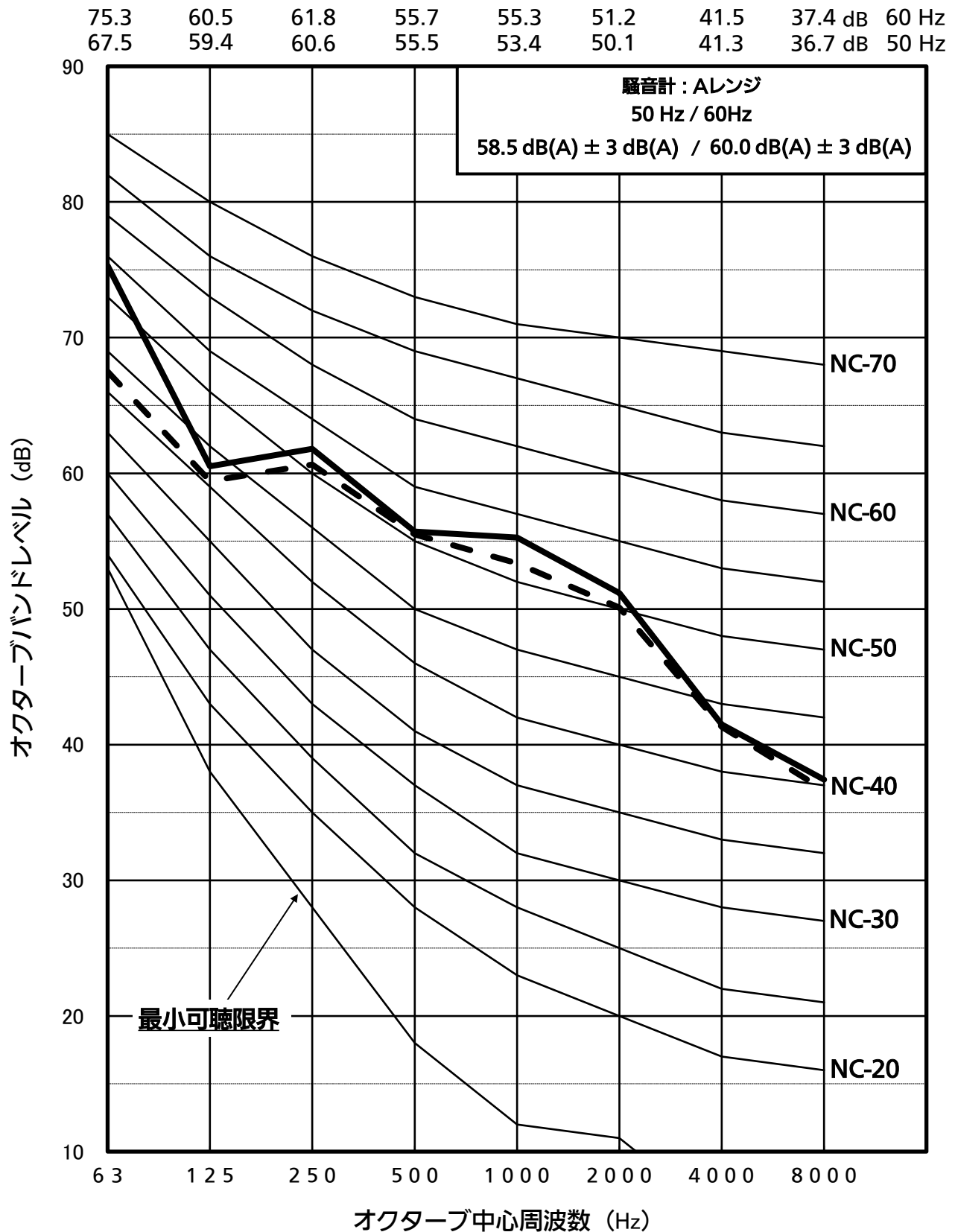
電圧 200 V

インバーターコンプレッサー運転周波数 75 s⁻¹ (Hz)

— 60 Hz 正面中央

- - - 50 Hz 正面中央

マイク位置：1 m×1 m



NC 曲線

OCU-KS2000MVF (-SL)

条件： 冷媒 R448A,R449A/R407H

周囲温度 32 ℃

凝縮温度 —

蒸発温度 -40/-37 ℃

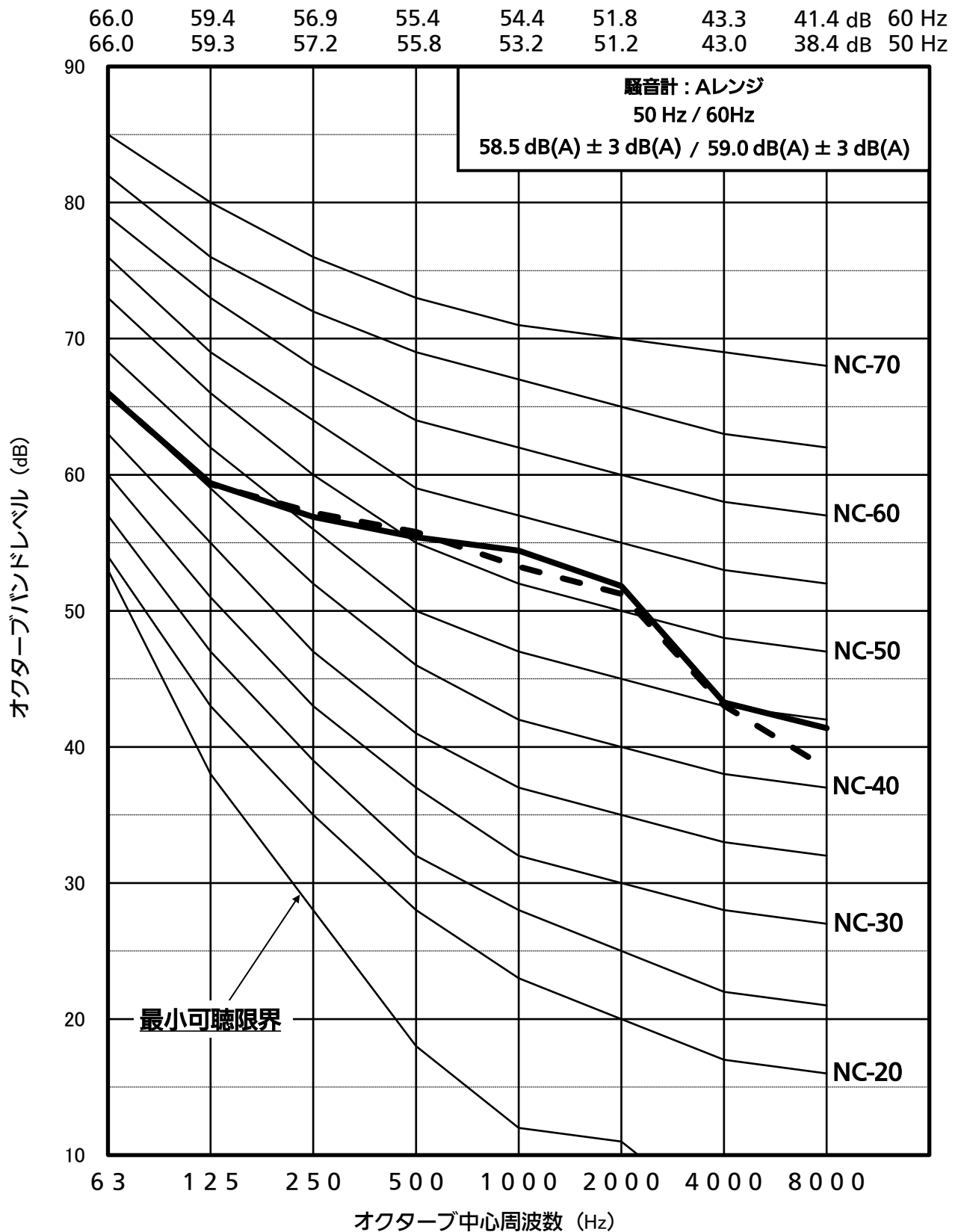
電圧 200 V

インバーターコンプレッサー運転周波数 75 s⁻¹ (Hz)

— 60 Hz 正面中央

- - - 50 Hz 正面中央

マイク位置：1 m×1 m



OCU-KS2000MVF (-SL)

試験圧力

被 試 験 品	区 分	設 計 圧 力	気密試験圧力	耐圧試験圧力	強度試験圧力
冷 凍 機	高 圧 部	2.9 MPa	2.9 MPa	—	—
	低 圧 部	1.68 MPa	1.68 MPa	—	—
コンプレッサー	高 圧 部	3.0 Mpa	3.0 MPa	—	9.0 MPa
	低 圧 部	1.68 MPa	1.7 MPa	—	5.04 MPa
レシーバータンク	高 圧 部	2.9 MPa	2.9 MPa	4.35 MPa	—
アキュムレーター	低 圧 部	1.68 MPa	1.68 MPa	—	—

配線容量

漏 電 遮 断 器	定 格 電 流	125 A	
	感 度 電 流	100 mA	
配 線 太 さ	蒸 発 温 度	-10 °C	-40/-37 °C
	10 m 以内	38 mm ²	38 mm ²
	20 m 以内	38 mm ²	38 mm ²
	30 m 以内	38 mm ²	38 mm ²
	50 m 以内	60 mm ²	60 mm ²
上表の値は冷凍機周囲温度32℃で、配線雰囲気気温度40℃以下、種類は600Vビニール絶縁電線(IV)、金属配管配線3本以下の場合です。			

注) 当社推奨の漏電遮断器を取付け、D種接地工事をおこなってください。

公害振動

振 動 レ ベ ル	40 dB 以下
-----------	----------

注) 公害振動は、下表の測定条件時の値です。

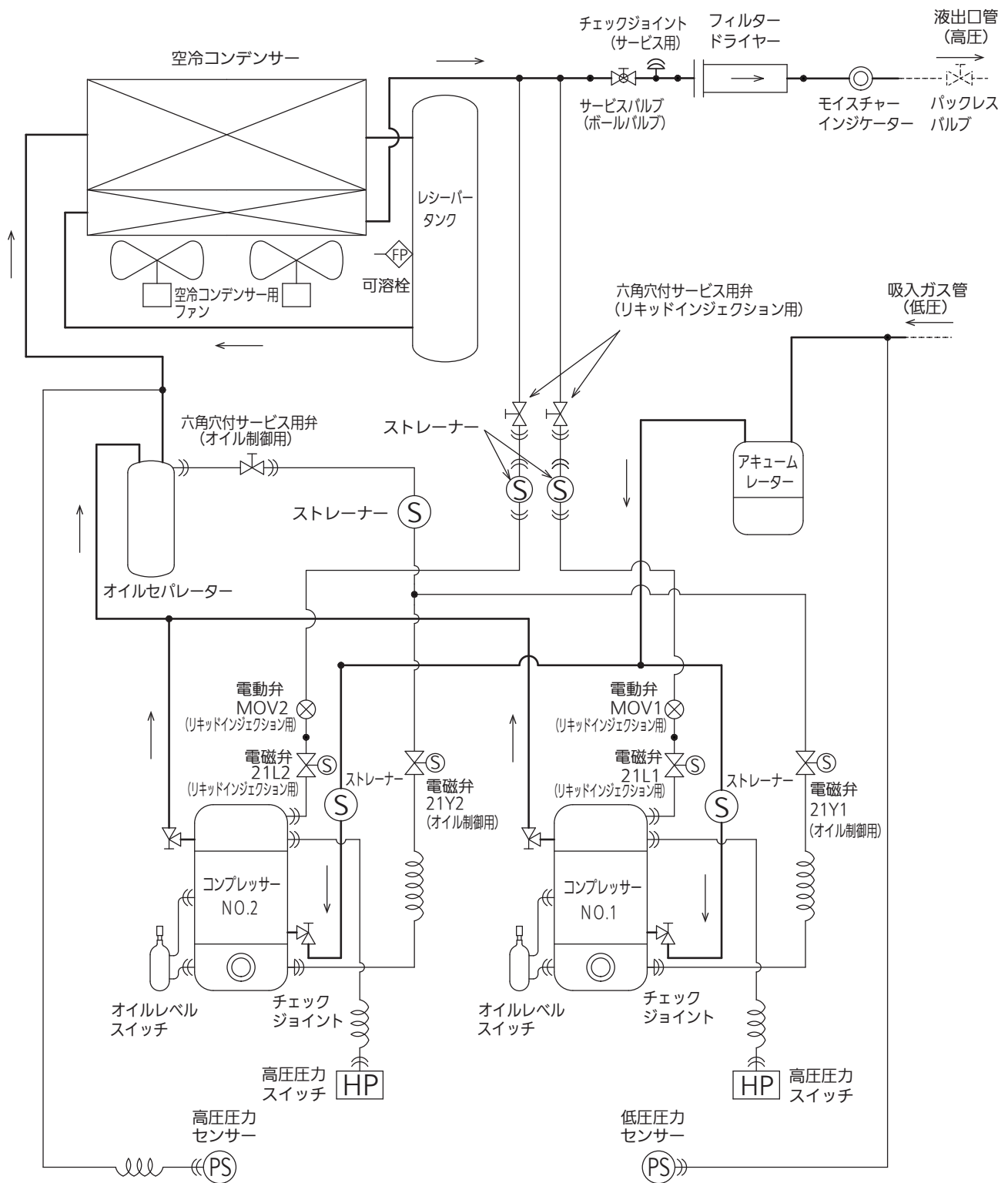
公害振動測定条件

測 定 機 器	公害振動計	(JIS C 1510 適合振動計)
測 定 位 置	冷凍機前面より距離 1 mの床面	
据 付 状 態	基礎（床面）から防振ゴム、冷凍機、の順でアンカーボルトにて固定	ブリヂストン社製 IP-1003 80 × 80 6ヶ所
インバーターコンプレッサー運転周波数		75 s ⁻¹ (Hz)
運 転 条 件	電 源	3相 200 V 50 Hz / 60 Hz
	周 囲 温 度	32 °C
	冷 媒	R448A,R449A / R407H
	蒸 発 温 度	-40 °C ~ -5 °C / -37 °C ~ -5 °C

重心位置

幅（左右方向）	750 mm	左手前アンカーボルトより
奥行（前後方向）	372 mm	
高さ（上下方向）	655 mm	

冷媒回路図



OCU-KS2000MVF (-SL)

使用基準

項 目	基 準 値		備 考
使 用 冷 媒	R448A / R449A	R407H	適正封入量であること
蒸 発 温 度	-40 °C ~ -5 °C	-37 °C ~ -5 °C	冷凍機入口圧力の 温度換算値(露点)
吸 入 圧 力	0.001 MPa ~ 0.33 MPa	0.001 MPa ~ 0.30 MPa	冷凍機入口圧力
吸 入 ガ ス 温 度	18 °C 以下		冷凍機吸入ガス管温度
吸 入 ガ ス 過 熱 度	10 K 以上		蒸発温度と コンプレッサー入口温度の差
凝 縮 温 度	常用 20 °C ~ 57 °C		コンプレッサー出口圧力の 温度換算値(露点)
吐 出 圧 力	常用 0.86 MPa ~ 2.40 MPa	常用 0.82 MPa ~ 2.35 MPa	コンプレッサー出口圧力
吐 出 ガ ス 温 度	120 °C 以下		コンプレッサー出口温度
オ イ ル 温 度	80 °C 以下(周囲温度 +10 K 以上)		—
冷 凍 機 周 囲 温 度	-15 °C ~ +43 °C		コンデンサー吸込み空気温度
電 源 電 圧	3 相 200 V ± 20 V		冷凍機電源端子電圧
電 圧 不 平 衡 率	2 % 以下		—
設 置 傾 斜 角 度	1 ° 以下		—
ON-OFFサイクル間隔	ON/OFF周期 10 分 以上		オイル戻りに問題の無い事
設 置 場 所	屋外設置		頑強な基礎が必要

OCU-KS2000MVF (-SL)

耐重塩害対策仕様表面処理一覧

No	部 品 名		標 準 品 仕 様	耐 重 塩 害 対 策 品 仕 様
1	外 装 パ ネ ル (裏 面 パ ネ ル お よ び 機 械 室 天 板 を 除 く)		溶融亜鉛メッキ鋼板+粉体電着塗装 (40 μm 以上、一部片面塗装)	溶融亜鉛メッキ鋼板+粉体電着塗装 (100 μm 以上)
2	裏面パネルおよび機械室天板		溶融亜鉛合金メッキ鋼板	溶融亜鉛メッキ鋼板+粉体電着塗装 (40 μm 以上)
3	ユ ニ ッ ト ベ ー ス		溶融亜鉛合金メッキ鋼板	溶融亜鉛メッキ鋼板+溶剤塗装 (50 μm 以上)
4	フ ァ ン ガ ー ド		軟鋼線材に樹脂コーティング	軟鋼線材に樹脂コーティング
5	熱 交 換 器 アルミフィン		プレコート	プレコート+ジंकリッチ処理
	熱 交 換 器 組 立 て 加 工 後		—	ジंकリッチ処理
6	フ ァ ン モ ー タ		アルミダイカスト	アルミダイカスト + アクリル塗装
7	ファンモータ取付架台		溶融亜鉛合金メッキ鋼板	溶融亜鉛メッキ鋼板+粉体電着塗装 (40 μm 以上)
8	ア キ ュ ー ム レ ー タ ー		アクリル樹脂焼付塗装	アクリル樹脂焼付二重塗装
9	レ シ ー バ ー タ ン ク		カチオン電着塗装 (20 μm 以上)	カチオン電着塗装 (20 μm 以上)
10	ネ ジ 類	外 部 用	ステンレスに亜鉛アルミ複合皮膜塗装	ステンレスに亜鉛アルミ複合皮膜塗装
		内 部 用	鋼に亜鉛アルミ複合皮膜塗装	鋼に亜鉛アルミ複合皮膜塗装

高調波発生機器製作者申告書

高調波発生機器名称	冷凍機	機器明細でのNO.	
-----------	-----	-----------	--

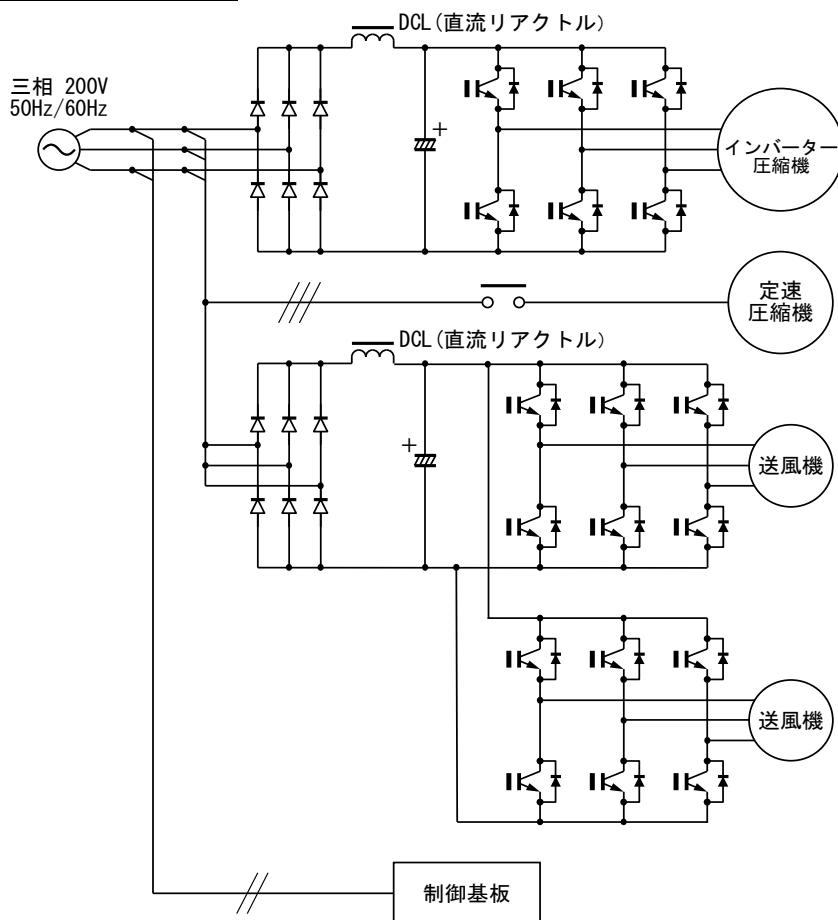
機器使用お客様名義	
業 種	

申込年月日	年 月 日
申込NO.	
受付年月日	年 月 日

高調波発生機器諸元				基本波電流に対する高調波電流発生率（％）									6パルス 換算係数 Ki
製造業者	型 式	定格容量(KVA)	使用電圧(V)	次数(n)	5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次	
パナソニック HVAC & CCシステムズ株式会社	OCU-KS2000MVF(-SL)	24.84	200	発生率(%In)	18.79	8.14	5.26	3.13	2.94	2.00	1.88	1.38	

機器の基本回路図

(高調波発生回路を中心に記入する)



※ 6パルス換算係数 Ki は、次式より求める。

$$K_i = \sqrt{\sum (n \times \%I_n)^2} / 139$$

高調波成分の発生量を表したスペクトラム図

本機種は、通産省通達「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」第2表「個別機器の高調波電流発生量」の3. 三相ブリッジ（コンデンサー平滑）、リアクトル有（直流側）回路分類細分No.33 の数値に「インバーターの容量／機器の定格容量」の比率を乗じたものです。

機器容量および比率は、以下の値で計算しました。

- ・インバーターの容量： 15.56 kVA
- ・機器の定格容量： 24.84 kVA
- ・容量比率： 15.56 / 24.84 = 0.63

高調波発生機器製作者申告書

高調波発生機器名称	冷凍機	機器明細でのNO.	
-----------	-----	-----------	--

機器使用お客様名義	
業 種	

申込年月日	年 月 日
申込NO.	
受付年月日	年 月 日

高調波発生機器諸元				基本波電流に対する高調波電流発生率 (%)												6 パルス 換算係数 Ki
製造業者	型 式	定格容量(kVA)	使用電圧(V)	次数(n)	5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次				
パナソニック HVAC & CCシステムズ株式会社	OCU-KS2000MVF(-SL) SPK-AF280E	24.84	200	発生率(%In)	1.88	1.13	1.13	0.81	1.00	0.75	0.88	0.69				0.29

※ 6 パルス換算係数 Ki は、次式より求める。

$$Ki = \sqrt{\sum (n \times \%In)^2} / 139$$

高調波成分の発生量を表したスペクトラム図

本機種は、通産省通達「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」第2表「個別機器の高調波電流発生量」の
3. 三相ブリッジ（コンデンサー平滑）、リアクトル有（直流側）
回路分類細分No.33 の数値に「インバーターの容量／機器の定格容量」の比率を乗じたものです。

機器容量および比率は、以下の値で計算しました。

- ・インバーターの容量： 15.56 kVA
- ・機器の定格容量： 24.84 kVA
- ・容量比率： 15.56 / 24.84 = 0.63

機器の基本回路図

（高調波発生回路を中心に記入する）

